

第4回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の運営についてのご意見】

運営についてのご意見等	回答
<p>原田委員へ</p> <p>第4回運営会議資料3によると「(2)ダムの総合的なお話をしていただける河川工学者の先生、ダムの総合的なお話をさせていただきます。専門性と市民感覚の両方を踏まえつつ、説明していただける講師の先生に日本の他のさまざまなダムのケースも紹介させていただきます。」となっている。そして、今本名誉教授が原田委員によって選定され、第2回振り返りシートには、その選定過程でちゃんと論文を比較して選定したのかといった主旨の質問に対し、「Yes」「読みました」と回答している。</p> <p>しかし、講師を選定するには、今本氏の論文やインタビュー記事だけを読んだのでは選定にならない。当然選ぶということは、比較の上であるから、他のどの候補のどの論文等を比較したのか、質問する。</p> <p>なお、市民感覚を持った河川工学者は我が国にも多数いるのは言うまでもない。例えば、元東京大学の虫明教授などは、学会、日本学術会議等でも評価された第一人者であり、さらに印旛沼等の浄化活動などで市民との交流も力を入れられている。他方、今本氏は、河川関係の学会で受け入れられない治水対策案を主張しているのは論文を読んだのなら事前に分かったはずである。</p>	<p>第4回講座に対する振り返りシートの範囲を超えています。</p>

戸田リーダーに要望

第10回の運営チーム会議議事録p15でセミナーの理解度について言及がある。つまり、県民がどれくらい理解が進んでいるかは運営チームの関心事だということだ。

さて、第3回のセミナーは三河湾についてであり、鈴木講師は、三河湾の再生には干潟復活が重要であると述べた。質問シートに対する回答を見ても、ダムによる影響の程度は調査しなければよく分からないということである。それを我々は第3回で学んだのである。

それを理解したということのはずなのに、チーム会議議事録p24～p25にかけて、傍聴者が発言しているが、ダムによって「例えば三河湾への影響、六条潟が駄目になると、三河の漁業が全部駄目になってしまう」「例えば三河湾の話ですれば、水質が悪くなるという話があるでしょう」としている。「全部駄目になる」ではなく、分からないのだ。勉強したことが全く理解されていない。

せっかく講座をやって少しずつ学んでいるのだから、全然勉強しない方々の発言は制止していただいた方が良く思う。こういう方々が全く勉強せず、いつまでも自分の主張を繰り返すから、これでは公開講座も意味ないなというアンケートに現れない方々が多くなり、出席者が増えないのだと考える。サイドイベントなどは実は邪道なのではないか。

こういう勉強する気がない方の発言は制止するか退出してもらい、正しく学んでいく人たちを増やしていくことこそ、サイドイベントなどではなく、本質つまり中身で講座を良いものにしていく、そして多くの県民が理解することに繋がるのではないか。

第4回講座に対する振り返りシートの範囲を超えています。

第10回運営チーム会議会議録p23の蔵治委員の発言「確認したいことは、やはり、そのサイドイベントをやっていただく団体さんの方々は、団体それぞれの主張とかあるとは思いますが、それは私どもは先程リーダーがおっしゃった二つの趣旨に合致していると判断してその団体を選定しましたと。それ以上でもそれ以下でもないで、別にサイドイベントの団体が何を主張しているかは、そのまま我々のチームの意見とか主張ではないということによろしいでしょうか。そこだけ確認しておいた方がいいかなと思ひまして。」について確認したい。

つまりサイドイベントをやる団体が事前審査さえパスすれば、本番で何をしても、運営チームは関知しないということか。それはおかしいのではないか。やはり何か良からぬことを本番でやっていたら、チェックして改善させるのが当たり前ではないか。第3回では「ダムができれば海産物が全滅します」と連呼して味噌汁を配っていたとある人から聞いたが、鈴木講師はそんなことを言っていたか。その団体がいまだに何のお答めも無くサイドイベントを担当しているのか。それは明らかにおかしいのではないか。サイドイベントを頼むのを止めるべきではないか。こういう偏った学習する気もない方々に任せるから、出席者が少ないのではないか。このサイドイベントの団体を推薦している原田委員にも回答を求める。

第4回講座に対する振り返りシートの範囲を超えています。

<p>蔵治委員へ 第1回セミナーのプレゼンについて再質問する。 蔵治委員資料p21「川の水量の減少－極端な場合、「河原砂漠」「暖流」とあるが、豊川で言えば、取水等の影響で瀬切れが年間120日以上発生する年もあり、アユ等魚類などが斃死することもあったという事実のことを意味しているということの良いか。</p> <p>蔵治委員資料p22「山の森を伐採・利用することで、川の水量を増やす」とあるが、設楽ダム計画は不特定容量が6,000万m³あり、それをタイミング良く補給することで、過去にあった瀬切れを解消できるとシミュレーションされているが、蔵治委員は、豊川の森をどのように伐採・利用すると設楽ダムによる不特定補給と同等の瀬切れ解消効果が得られるというのか。具体的に科学的根拠もあわせてご教示いただきたい。</p>	<p>第4回講座に対する振り返りシートの範囲を超えています。</p>
<p>小島委員へ 愛知県知事政策顧問として、県民の問いかけに答えて欲しい。 三河湾を再生するというのなら、矢作川から名古屋港の工業地帯に送っている2.67m³/sの水は三河湾ではなく伊勢湾に流れてしまう。あなたは、長良川河口堰の検討において、この地域は水が余っているから長良川を開門すべきと主張しているようだが、水が余っていると言うのなら、そして三河湾を再生するというのなら、まずは、何をさしおいても、矢作川から送っている2.67m³/sの水を矢作川、そして三河湾に返すべきであると思うし、それを先に実現するのが先だと思うが、知事とは話をしたのか。感触はどうか。</p>	<p>第4回講座に対する振り返りシートの範囲を超えています。</p>
<p>今日までの資料及び講演の内容はどうやって手に入れるのか。</p>	<p>愛知県のホームページから「とよがわ流域県民セミナー」のバナーをクリックすると、セミナーのホームページに入ることが出来ます。このホームページから各講座の資料、講演内容が入手出来ます。</p>
<p>建設の可否や必要性の議論が多いが、水没住民として、補償や生活再建、ダム後の故郷作りなど、犠牲者にも目を向けた議論をしていただきたい。先例地との比較もして不利益にならないようにして。</p>	<p>今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。</p>
<p>講師の先生たちは大変とは思いますが、もっと多岐に亘って回数を増やして欲しいと思います。</p>	<p>期間的に限界がありますが、関連する分野を取り扱う予定としております。</p>

<p>第1回から連続して拝聴、勉強させていただいていますが、かなり生々しい議論になってきたようで、いろんな問題が率直に議論されていて、真剣に考えないといけない事がよく分かってまいりました。</p> <p>頭から反対の立場の人の意見が多いようですが、本当に水が足りないという立場（ダムを造っても水が欲しい）の人の意見というのはないのでしょうか。</p> <p>また、三河湾の漁業者の立場からの実態からダムを造った時と中止した時の想定される問題点の提起も欲しいように思いました。</p>	<p>今後のセミナーで、水需要については取り上げる予定としております。</p>
<p>息抜きのサイドイベントもあり、硬い話を柔らかくさせていただいて良い運営になっています。</p>	<p>サイドイベントによって、県民が参加しやすいセミナーとなるように考えていきます。</p>
<p>過去にダムが造られた所のメリット、デメリット（箱物（建物）などムダ金になっている）の講座</p>	<p>今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。</p>
<p>原田司会者は中立的な立場で進行すべきである。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>質疑において、コーディネーターの方が理解していなくて、質疑がかみ合っていないと感じました。</p> <p>テーマに沿った意見が会場から直接出ているが、コーディネーターの方は、全然気にしていない。</p>	<p>今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。</p>
<p>日本の先に行くアメリカのダム事情を聞く・見る機会はないでしょうか。本でも講師でも、映画・CDでも何か無いでしょうか。</p> <p>すでにあるダムの功罪が分かる資料はないでしょうか。</p>	<p>今後のセミナーでの情報提供の際に参考とさせていただきます。</p>
<p>スタッフのみなさん、一生懸命やってくれており、感謝いたします。是非、設楽ダム中止する方向をお願いします。</p>	<p>当セミナーは、設楽ダムに関して県民が共に考えるための取組みの一つとして、様々な情報を広く県民に分かりやすく提供することを目的としています。</p>
<p>司会の原田さんは、講師の発表内容をしっかり理解して発言して欲しい。もっと素直な気持ちで（先入観を持たずに）、理解に努めて欲しい。</p> <p>また、自分の感想（十分理解していないのにも拘わらず）など発言しない方が良い。公平性が担保されない。</p> <p>伊藤講師に追従し過ぎだ。軽薄である。</p> <p>建設事業債と臨財債の区分ができていない。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>

<p>議論の中で、岩盤が強いかわいいかというの、第1回「とよがわ流域の地域形成と地域像」藤田名誉教授の講座で、岩盤は強固だと学んだではないか。学んだのにまた「弱い」「不安だ」という発言を未だにするということは、全く学習効果がない。やっても意味がないということではないか。</p> <p>原田委員は、学習していない人の発言は制止すべきでは。皆で共有している時間が無駄である。時間を独占している人がいる。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>原田さとみさんの運営について</p> <p>① 本当にすべての質問をこなしてから会場に振ったのか。質問を書いて提出した人に失礼では。</p> <p>② 森先生が、建設公債は将来世代も含めて負担する方が公平で、特例赤字公債の方が問題なのだと言っているのに、設楽ダムは借金不安だと繰り返したの、不適切。臨財債と建設公債を最後まで分かっていない。理解力が不足している。コーディネーターとしてダメ。失格だ。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>次回の名古屋開催では、託児が可能なウィル愛知をお願いします。</p> <p>また、今回は、県内すべての市町村の公報に載っていませんでした。公報は広報課に協力をいただいたらいいでしょうか。</p>	<p>託児についても、会場が可能な場合は検討しています。広報につきましては、より多くの県民に知って頂けるように、諸部門に協力をお願いしています。</p>
<p>音が大きすぎると思います。</p>	<p>今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。</p>
<p>建設予定地の素晴らしさを県民に知らせる機会を作りたい。</p> <p>また、中山間地をどうすればいいかの議論をする場も欲しい。</p>	<p>今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。</p>
<p>広く県民に情報を提供して、どのような結論を導くのか、目的が不明確である。</p>	<p>当セミナーは、設楽ダムに関して県民が共に考えるための取組みの一つとして、様々な情報を広く県民に分かりやすく提供することを目的としています。</p>
<p>サイドイベントの三河万歳は、幸田町の出身者ですが聞いたこともなかった。いつ頃から復活したのか、いつどこで演じられるのか調べてみたい。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>主催が県であっても、有識者検討、運営から第三者もしくはNPO、ファシリテーターなどを入れるべきである。</p> <p>「利権者」＝当事者の議論（＝利用者負担の覚悟）を行うべき</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
<p>流水の正常な機能の維持、同容量（不特定容量）の問題について、セミナーを行って欲しい。</p>	<p>今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。</p>

第4回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（森講師）】

講座内容についてのご感想・ご意見	回答
一般に県政は西高東低と言われるが、表をどのように説明するか。	
設楽ダム建設の県費と、及ぼす影響について理解が得られた。	ご理解いただき有難うございます。
財政の面から言えば、県はやろうと思えばできるということがよく分かった。	ご理解いただき有難うございます。
県財政の分析は興味深いものがありました。	ご理解いただき有難うございます。
説明に使われたデータは過去の資料によるもので、将来の変化予測が（高齢化、産業の変化）入っていないのでは。今現在なら問題ないことはよく分かりました。	将来の状況変化が県財政に与える影響は予測し難い面もあり、今回は現状を前提として分析しました。
「設楽ダム建設関連投資の実施は、愛知県の財政状況を著しく悪化させるものではない。」ことが、講師の説明でよく分かった。 豊川の治水安全度、利水安全度は極めて低いため、設楽ダムによる治水安全度、利水安全度の向上を図っていただきたい。 また、設楽ダム建設にあたっては、建設費、維持管理費を含めたトータルコストの縮減を図っていただきたい。	ご理解いただき有難うございます。
2011. 3. 11という日本の国の転換点があり、2010年のデータでは、ダム建設に対してそれほど影響がないということに、財政収支があまり理解できなかった。 リーマンショックではなく、日本の社会・経済については、2011年以降を考えなくてはいけないのではと思った。	2011年度以降に県の財政構造が大きく変わったのか、分析してみないとわかりませんが、愛知県に関しては激変はなかったのではないかと考えます。

第4回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（森講師）】

講座内容についてのご感想・ご意見	回答
<p>2010年度を基本にしたデータを基に財政状況を話されましたが、2011. 3. 11以降の日本、愛知県の財政、県民生活や国の施策の大きな変化を基に報告すべきではないでしょうか。</p> <p>2013. 4月以降の復興税や、消費税アップも頭に入れた報告をすべきではなかったのでしょうか。</p> <p>伊藤先生の話からも、建設効果があれば、将来の負担は有効であるという結論を早急に出すべきではないと思います。</p>	<p>上記の回答でお答えに変えたいと思います。</p>
<p>森氏の内容は数値だけを追うもので意味がなかった。</p> <p>負担はダム事業だけではなく、国保をはじめとして増加は明らかで、生活者に即した面も含め（景気、所得）なくては適切ではないでしょう。</p>	
<p>設楽ダムが役に立つという前提があって初めて将来世代の負担が正当化されると考えます。ダムがむしろマイナス影響があるとすれば、将来世代に負担を求めるのは間違い。県財政への影響が少ないのは希釈効果のみ。</p>	<p>設楽ダムが役立つことを前提にして議論したつもりはありません。ダム建設が県財政の観点から実行可能かどうかを検討したつもりです。</p>
<p>愛知県財政の規模と設楽ダムという1事業の規模を比べて、大きな影響はないとの県財政面からの見方で正しいのか。コスト・ベネフィットのあるべき検討を行って事業の判断をしなければならないのではないのか。</p>	<p>ダム建設の是非を検討するのならコスト・ベネフィットは重要ですが、今回の検討は、ダム建設が県財政の観点から実行可能かどうかについて行っています。</p>
<p>森先生の財政インパクトの話は意味がない。財政的に踏み込んだ議論ができていない。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（伊藤講師）】

講座内容についてのご感想・ご意見	回答
スライド画等の資料をください。	
水使用の直前で利用権の変更ができるのか。	
<p>設楽ダム費用対効果や、必要性の議論があるが、建設に向けて水没住民は既に過半数が移転しており、基本方針に従っていただきたい。</p>	
<p>多大な負担を強いられるダム建設。本当に行政もその必要性を考えるべきと思います。</p> <p>山間部の過疎対策は、ダムに置き換えるのではなく、真に住む人の生活を考えて行うべき。病院、医者、福祉、学校、鳥獣害など、今直面している生活問題を解決することが大切。</p> <p>今の行政は、山間部に人が住めなくしている。大金をかけて20年先のことより、今の人たちがそこに定住しやすい施策を進めることが必要。下流のために上流の人が苦しむ必要はありません。</p> <p>伊藤達也先生、分かりやすい説明ありがとうございました。</p>	
<p>伊藤氏の講演について、事実と違う（特に数字）部分があり、講演の信憑性が問われるのではないか。</p>	
<p>伊藤氏の論は、ダム反対の立場からの話であったが、もう少し地域をどうするか、大きな目で見た説明が必要と考える。</p> <p>他の流域と比較してコストが高いと言われるが、国の中の一地域として必要であれば、ダムは必要ではないかと考える。</p> <p>将来にわたって国土をいかに良くしていくかという視点が必要。</p>	
<p>大変参考になりました。（利益を受けている人にもっと理解をする必要があることが。）</p>	
<p>伊藤講師は、説明資料を配付すべきである。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（伊藤講師）】

講座内容についてのご感想・ご意見	回答
<p>水資源は地域的に偏在しており、お金を払えば手に入るというものではないことを考えれば、「効率が悪い」「異常に高い」と言われる設楽ダムであっても、法手続きが済み、地域の合意も得られたこの時期において早く次の段階に移り、建設を進めるべきではないのか。</p>	
<p>利用権者が負担することを明確に示すことが、住民意識として大切であると思いました。 設楽町付近のインフラ整備が、計画が始まってから遅れてきた。ダムの切符が無ければ。 すべてダム関連に位置付けられて減額されてきたので、早急にインフラ整備をしてあげなければ。早く仕上げたい。</p>	
<p>三河湾沿岸に住み、昔のきれいな三河湾を知っている者から見ると、設楽ダムは必要なく、効能よりも害の方が多いと思っています。 しかし、県、国の説明等もあり、心の動くところが今まで多少なりともありましたが、今日の伊藤達也先生のお話を聞いて、絶対設楽ダムは造るべきではないと確信しました。もし、ビデオを分けてもらえるなら、いただいて、地元でみんなで見る会を開きます。</p>	
<p>今日は「費用対効果」の意味合いと、設楽ダム建設計画におけるその実態がよく分かりました。 推進者（県、国交省）は、正確に分かりやすく説明すべきでしょう。</p>	
<p>伊藤氏講演について 設楽ダムの問題点をより明確にしてください。アセスメントが海の影響を行っていないのは大きな問題。 ダム建設の現実の建設費は、3.11以降明らかになってきた原発の隠されていた建設費と類似している。</p>	
<p>ダムのリサイクル率が1年とは驚きであった。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（伊藤講師）】

講座内容についてのご感想・ご意見	回答
<p>伊藤先生のスタンスは、今後の愛知県の公共工事を行う上での大事な取り組み方法として取り入れていっていただきたい。 設楽ダムのもそもその目的について、愛知県民としては、まったく理解できるものではない。利権（水利）や地域の再開発で見直すべきことは沢山ありますね。</p>	
<p>費用負担と財政の問題の難しさについて議論がされたのは良かった。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（両講師・不明・その他）】

運営についてのご意見等	回答
<p>議論は面白いが、これからどうなるのか。</p>	
<p>奥三河の自然が壊れれば、動植物への大きな負の部分が発生する。金銭ではない大きな悲しみです。 歩きながら、多くを教えられている地域です。これ以上壊さないで欲しい。 今後も参加します。</p>	<p>ありがとうございます。これからも是非ご参加ください。</p>
<p>問題の本質が見えてきた感があります。 ダム本体の問題と別に、地域振興、財政補助、利害関係が入り組んで混乱の中にある。専門的知識と調査権のある会計検査院の判断はどうなのか。資料はないか。 これをいい方向へ行かせるのは、政治に期待するしかないのか。知事の英断を。（地元の振興とダム本体の見直しを両立できないか。）</p>	
<p>聞き漏らしたかもしれないが、維持管理費（メンテナンス）についての説明が無かったように思われる。 地方債、国債まみれの借金の財政の中で、一旦決めた公共事業を止めて無駄を省くべきではないか。 水需要は変わっている。下流の首長、議会が促進決議するのはダムマネーがあるからではないか。その分、社会保障の充実のために削減する。無駄を増大しているのでは逆財政運用である。 （やらせにならず厳しい批判講師を次回に望む。）</p>	
<p>両講師の方のお話は分かりやすくて良かった。</p>	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<p>今まで知らない部分（財政の部分）を知ったようで、ためになりました。</p>	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>
<p>① 初めて県の財政構造を聞いた。ダムの影響度も分かり易くて良かった。 ② 「ダム投資と事業効果」については、今後、具体的数値（特に環境の価格化）について聞きたい。</p>	<p>ありがとうございます。今後とも良い運営ができるように努めてまいります。</p>